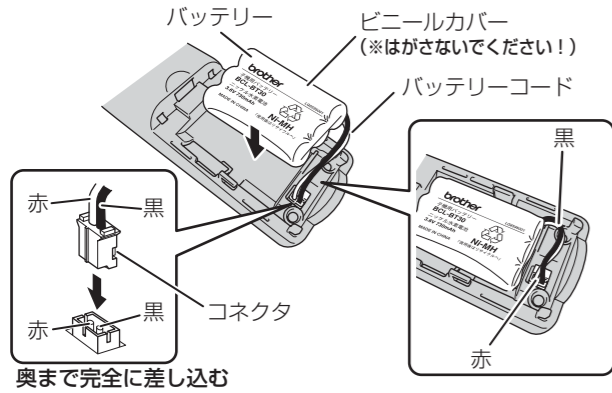


3 子機を準備する

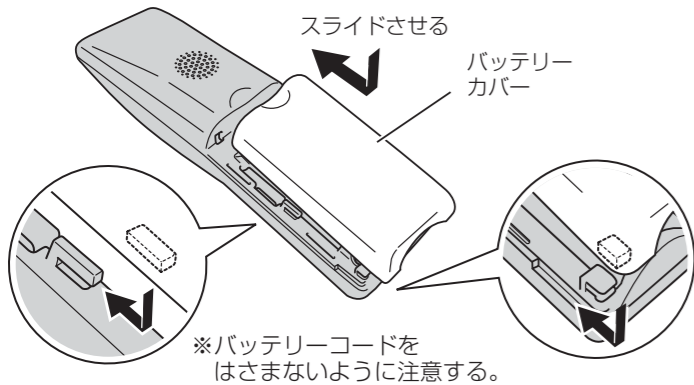
1 子機にバッテリーをセットする

- 注意**
- バッテリーを覆っている白色のビニールカバーは、はがさないでください。
 - 子機のバッテリーは消耗品です。充電が完了しても使える時間が短くなったときは交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換時期の目安は約1年です。バッテリーはお買い上げの販売店またはご注文シート（取扱説明書121ページ）でお求めください。

①下図の向きにコネクタを差し込み、バッテリーをセットする



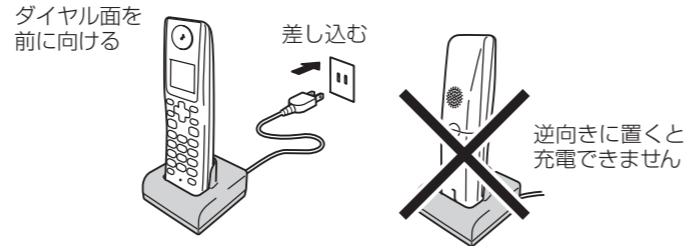
②バッテリーカバーを閉める



2 子機を充電する

- 注意**
- 初めてお使いいただくときは、必ず12時間以上充電してください。
 - 子機充電器の電源を携帯電話の充電器と同じ電源からとらないでください。子機が正常に動作しない原因となります。
 - 子機を充電器にセットしないで長時間放置しておくとバッテリーが消耗して使用できなくなります。

①電源コードをコンセントに差し込み、子機を充電器にセットする



- 子機を使用していないときは、必ず充電器にセットしてください。
- 充電器の上に硬貨などの金属を置かないでください。熱くなることがあります。



- メモ**
- 充電器に子機をセットするとディスプレイに「ジヨウチョウ」と表示され、充電ランプが点滅し充電ランプが点灯します。
 - バッテリーの残量が極端に少なくなっているときは、充電器にセットしても「ジヨウチョウ」と表示されなかったり、充電ランプが点灯しないことがありますが、しばらく充電すると表示されます。
 - 充電が完了するとディスプレイに「フル」が点灯し「ジヨウチョウ」の表示と充電ランプが消灯します。



ファクスを印刷したり、コピーをするときは記録紙をセットする必要があります。
すっきりトレイを使う人は、取扱説明書10ページへ
記録紙トレイを使う人は、取扱説明書10ページへ



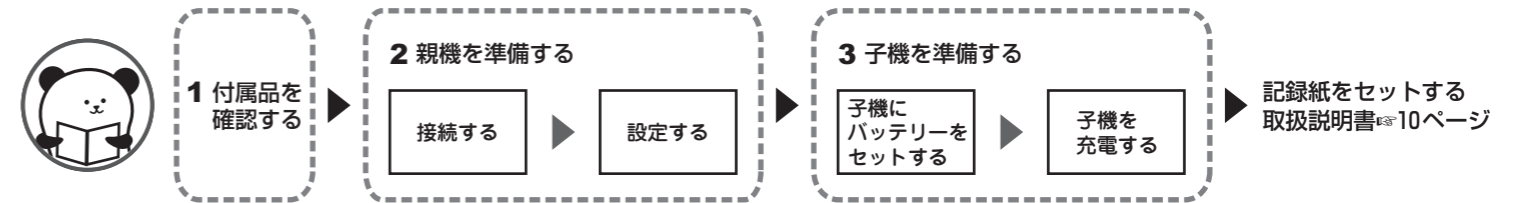
かんたん設置ガイド

FAX-370DL
FAX-370DW

初めに
お読みください!



設置や設定についての詳細は、取扱説明書をお読みください。

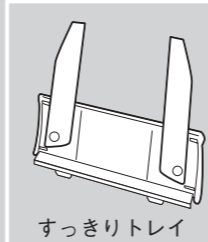


確認したら、□にチェックマークを入れましょう。

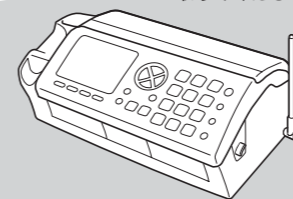
1 付属品を確認する

箱の中に次のものがそろっているか確認してください。万一不足しているものがあつたり、取扱説明書に乱丁、落丁があつたときは、「お客様相談窓口(コールセンター): 0120-161-170」にご連絡ください。

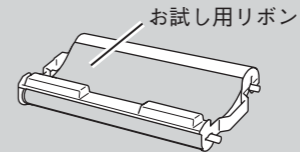
親機 1台
(すっきりトレイ、リボンカートリッジ取り付け済み)



すっきりトレイ



※青いテープを取ってください。



お試し用リボン
リボンカートリッジ (PC-551)

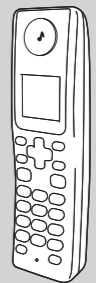
※親機の中にはA4サイズで約30枚分印字可能なお試し用リボンカートリッジがセットされています。
※カバー開閉や電源コードを抜き差しなどの使用状況によってリボン残量が少なくなることがあります。

※アンテナを起し、向きを調節してください。

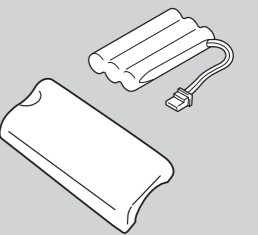
子機/子機の付属品

※ FAX-370DW には2台分の子機/子機の付属品が同梱されています。

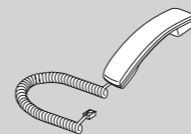
子機



子機用バッテリーと子機用バッテリーカバー (1つの袋に入っています)



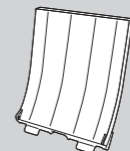
受話器 1台
(受話器コード取り付け済み)



電話機コード (1.5m) 1本
(6極2芯)



記録紙トレイ 1個
(ダストカバー付き)



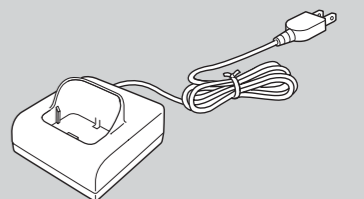
取扱説明書 1部

かんたん設置ガイド (本紙) 1部

保証書 1部

記録紙 (A4)

子機充電器



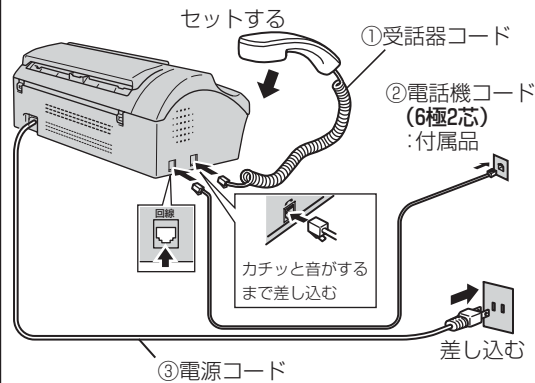
2 親機を準備する

1 接続する

接続する

- ① 受話器コードを接続する
- ② 電話機コードを接続する
必ず受話器を親機にセットしてください。
- ③ 電源コードを接続する

接続の順番を間違えると、設定が正しく行われなことがあるかもしれません。



注意
●電源コードと電話機コードを一緒に束ねたり、携帯電話の充電器などと同じ電源からとらないでください。通話時に雑音が入ることがあります。

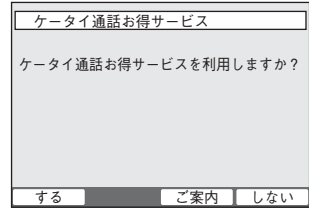
- メモ**
- 電源コードを接続すると、音声ガイダンスが流れます。
 - 音声ガイダンスの音量は、音量ボタンで調整ができます。
 - 付属品の電話機コードをご使用にならない場合も、6極2芯の電話機コードをお使いください。6極4芯の電話機コードをご使用になると、通話中に雑音が入ったり、子機が誤鳴動することがあります。
- 2芯** (接点2個) **4芯** (接点4個)
- ご使用のパソコンにPHONE端子またはTEL端子がある場合は、一つの電話回線でパソコンと本機の両方を接続してお使いいただけます。接続のしかたは取扱説明書第1章「他の機器を接続して使う」を参照してください。
 - 電話コンセントがモジュラー式ではなく、直接配線式の場合は、別途工事が必要です。ご利用の電話会社にお問い合わせください。



2 「ケータイ通話お得サービス」※を利用する

サービスを利用する／しないを設定する

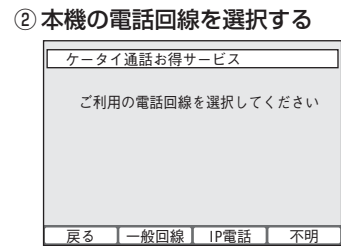
- ① 利用する場合は **する** を押す (②へ進んでください)
利用しない場合は **しない** を押す (「3 回線種別を設定する」に進んでください)



※「ケータイ通話お得サービス」とは
固定電話から携帯電話に電話をかけるときに、自動的に通話料金がお得になる電話サービスに接続する機能です。お申し込み手続き・定額は不要です。お買い上げ時はNTTコミュニケーションズの0033モバイルサービスに設定されています。本サービスの設定は後からでも変更をすることができます。(取扱説明書※26ページ)

注意
すべてのひかり電話サービス、直取電話サービス、ケーブルTV局が提供する電話サービスをご利用のお客さままたはNTT東日本・NTT西日本の一般電話を契約しないでインターネットプロバイダの提供する電話サービスをご利用のお客さまは、この機能をご利用になれません。「しない」に設定してください。

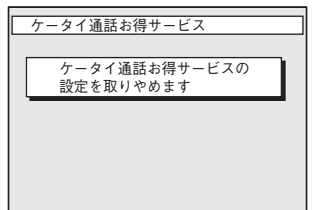
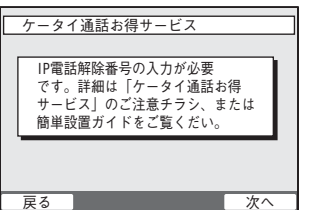
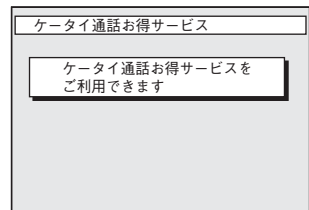
- メモ**
- 「IP電話サービス」とは
インターネットで使用するIPネットワークを利用して通話を行うサービスです。
 - 「直取電話サービス」とは
NTT東日本・NTT西日本の電話回線を介さずに、直接お客様のご自宅と各サービス事業者を結ぶ電話サービスです。(例：ソフトバンクテレコムのおとくライン、KDDIのメタルプラスなど)



一般回線のお客さまは **一般回線** を押す

IP電話サービスのお客さまは **IP電話** を押す

電話回線がわからないお客さまは **不明** を押す



設定終了しました。「3 回線種別を設定する」に進んでください。

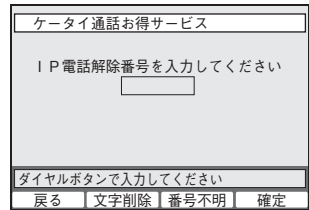
IP電話解除番号を入力します。

設定をとりやめます。「3 回線種別を設定する」に進んでください。

IP電話解除番号を設定する

IP電話サービスをご利用のお客さまは、IP電話解除番号を登録してください。

- ③ IP電話解除番号入力して **確定** を押す



IP電話解除番号のご案内 (2007年5月現在)		
事業者名	サービス名	IP電話解除番号
Yahoo!BB (ソフトバンクBB)	Yahoo!BBフォン※1	0000p※2
OCN (NTTコミュニケーションズ)	OCNドットフォン※1	0000
KDDI (DION)	KDDI-IP電話※1	0009※3

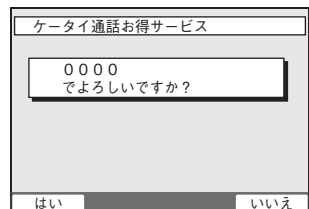
その他のIP電話サービスをご利用のお客さまは、ご利用中のIP電話事業者にIP電話解除番号とボース入力「p」(P)で入力が必要お問い合わせください。ボース「p」の入力については、「文字の入れかた(親機)」(取扱説明書※105ページ)を参照してください。IP電話解除番号は予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

※1 Yahoo!BB光、OCN光サービス、KDDIメタルプラスはご利用になれません。
※2 Yahoo!BBをご利用の場合は「0000」のあとにボース「p」(P)で入力してください。
※3 IP電話対応機器(NTT東日本・NTT西日本提供)をご利用の場合は「0000」を入力してください。

文字を消去するには **文字削除** を押す
分からない場合は **番号不明** を押して「3 回線種別を設定する」に進んでください。

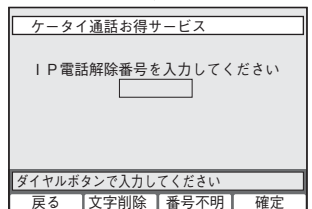
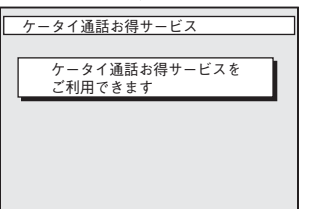
メモ
IP電話解除番号の設定は後からでも変更をすることができます。(取扱説明書※26ページ)

- ④ 入力した番号を確認する



間違いがない場合は **はい** を押す

訂正する場合は **いいえ** を押す



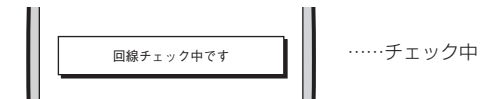
設定終了しました。「3 回線種別を設定する」に進んでください。

入力画面に戻ります。

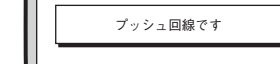
3 回線種別を設定する

自動で設定する

自動で回線種別の設定が始まります。構内交換機(PBX)やマンションアダプタなど、一般と異なる回線についている場合や自動設定できない場合は、手動で回線種別を「プッシュ回線」に設定してください。(取扱説明書※8ページ)



プッシュ/ダイヤル20PPSのどちらかに判別されます。



設定終了しました。日付・時計設定画面に切り替わります。

回線種別の自動設定後、「177」(天気予報)につながることをご確認ください。(通話料金がかかります)

- メモ**
- 電話回線にはご利用の電話会社との契約により「プッシュ回線」・「ダイヤル回線(10PPS・20PPS)」の3種類があります。回線種別の設定が正しくないと、本機からダイヤルした番号を交換局で認識できないため電話をかけた後、ファクスを送ることができません。(電話を受けることはできます。)
 - 回線の自動判別終了後、「回線種別が設定できませんでした」または「回線を接続し機能ボタンから回線種別を設定してください」と表示されたり、電話がつかない場合は、手動で回線種別を設定してください。(取扱説明書※8ページ)
 - ひかり電話サービスや直取電話サービスをご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は電話がかかりませんので、手動で回線種別を「プッシュ回線」に設定してください。(取扱説明書※8ページ)
 - デモ画面が止まらないときは、**停止** を押してデモ画面を終了し、**戻る** を押してデモ動作設定を「しない」に変更してください。

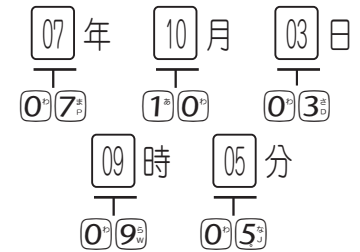
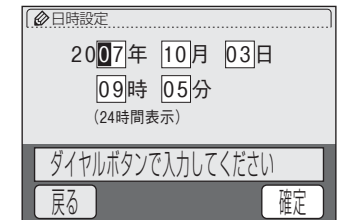
4 日付と時刻を設定する

(例)「2007年10月3日 午前9時5分」に設定する

引き続き日付・時刻設定が始まります。親機の日付と時刻はディスプレイに表示されるほか、ファクスを送信したときに送り先の記録紙に送信日時として印刷されます。また、親機では着信履歴や発信履歴もこの設定に基づいて表示されますので必ず設定してください。

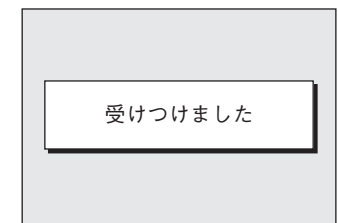
- ① 日時を入力する

・「年」は西暦の下2桁を入力します。



- ② **確定** を押す

「受けつけました」と表示されます。



- メモ**
- 数字を入れ間違えたときは
間違えた箇所までカーソルを移動させ、入力し直してください。
 - 設定を途中で中止するときは
停止 を押してください。
 - 再度設定するときは
戻る を押して、手順①から操作してください。

